



ふれあい

編集発行

社会福祉法人 京極町社会福祉協議会

〒044-0121北海道虻田郡京極町字三崎68番地

TEL(0136)42-3681 FAX(0136)41-2031

Eメールアドレス

kyogoku-fukushi@blue.ocn.ne.jp

ホームページアドレス

<http://www.shakyo.or.jp/hp/63/>

この広報は赤い羽根共同募金の助成金で印刷されています。

コロナ禍以前のような活動も少しずつ再開し始めました。
やはり地域福祉を進める中で、人と人がふれあう機会は必要不可欠だと思っています。
『With コロナ』時代に突入するにあたり、ふれあいを絶やさないような働きかけを職員
一同努めてまいります。京極町の皆様、何卒お力添えをよろしくお願いいたします。



Instagram・フェイスブックでも
適宜情報を発信しております！
是非ご覧ください！



instagram



facebook

社会福祉法人 京極町社会福祉協議会

令和4年度 基本方針

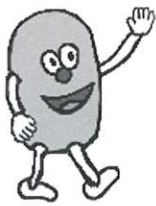
令和3年度末に、京極町地域福祉計画・第7期京極町地域福祉実践計画が策定されました。これは、地域で暮らす住民の皆様、行政、関係機関、社協と一緒に作り上げた5年間の推進計画になります。この計画をみると、改めて京極町が福祉に対し多くの取り組みをしている事、社会福祉協議会がその地域福祉活動の多くの部分を担っていることを再認識しました。

私たちが社会福祉協議会では、住民活動を支えるボランティアセンターや配食や除雪などの在宅サービス事業、成年後見制度の利用促進を担う京極町生活サポートセンター、地域包括ケアシステム推進を担う地域包括支援センター、高齢者の元気づくりを応援する介護予防センター、介護や支援が必要になった方を支える居宅・デイサービス・訪問介護など、住民さん一人一人を支える事業から地域づくりに関する事業まで、多くを担い展開しています。

新型コロナウイルスと向き合い2年が経過しました。その中で私たちは、おかれている状況下でも工夫して何かを成し遂げる事や、普段の何気ないつながりの大切さに改めて気づくことが出来ました。リモートを活用した取り

組みや少人数でも取り組める環境整備など、どうすればできるかを考え、元気づけ湧くウォーキングやオンラインつどいの場、ボランティア養成講座にオンラインでの開催を試みたり、住民さんの飲食の商品券がうまく使用できないとの要望からお弁当大作戦が生まれました。しかしながら住民さんの要望が必ずしも届かず、必要なことに充分取り組めなかったことも多くあると思います。社会福祉協議会は即応性の原則が掲げられている住民組織です。前述した通り、今後も私たち自身が京極町の一員であり京極町の住民組織であることを念頭に、必要な時に必要な支援を届けられる社協を目指します。

また、当法人は住民の皆様や企業様、役場や医療・福祉関係機関など多くの方々の応援によって成り立っている組織です。今後もより地域の方の声を傾け、一緒に考え取り組み、理解・共感を生み、応援してもらえる活動・経営を推進します。



令和4年度事業計画(総務課担当)

- 京極町愛情資金貸付事業・生活福祉資金貸付事業(内容:高齢者世帯や障がい者世帯、低所得世帯に必要な資金の貸付と相談支援)
- 移送サービス(内容:透析患者の送迎、高齢・障がい者世帯等への町内の通院支援)
- 配食サービス(内容:高齢・障がい者世帯等への夕食の宅配)
- 除雪サービス(内容:70歳以上の高齢・障がい者世帯の除雪支援)
- 電話サービス(内容:週1回程度、電話による安否確認も含めた相談支援)
- 高齢者等緊急通報システム事業(内容:高齢・障がい者世帯等に緊急通報装置を設置し体調急変などの緊急時に対応する)
- 高齢者等かぎ預かり事業(内容:高齢・障がい者世帯等の自宅のかぎを預かり、日常の見守りと緊急時に対応する)
- ボランティアセンター事業(内容:ボランティアに関する相談と調整、ボランティア保険受付、ボランティア講座の開催)
- ふまねっと・ニューススポーツサロン(日時:毎週木曜13:30~14:30場所:商工会館)
- 福祉用具・行事用備品の貸出し(内容:個人や団体へ車いすや行事用テントなどの貸し出し)
- ほかほかまつり(開催時期:10月を予定) 上記事業の詳しい利用条件や料金については、福祉センターまでご相談・お問合せ下さい。



令和4年度収支予算

【支出の部】

科 目	予算額 (円)
人 件 費	136,012,000
事 業 費	9,327,000
事 務 費	32,496,000
貸付事業支出	800,000
共同募金配分金事業費	3,059,000
助成金支出	60,000
負担金支出	234,000
ファイナンスリース債務の返済支出	672,000
積立資産支出	4,878,000
予備費	50,000
支出合計	187,588,000

【収入の部】

科 目	予算額 (円)
会 費 収 入	1,070,000
寄付金収入	1,000,000
補助金収入	39,225,000
受託金収入	102,291,000
事業収入	1,035,000
貸付事業等収入	700,000
介護保険収入	37,685,000
受取利息配当金収入	10,000
積立預金取崩収入	4,572,000
収入合計	187,588,000

令和3年度 決算報告

【貸借対照表】

(令和4年3月31日現在) (単位:円)

資産の部		負債の部	
	当年度末		当年度末
流動資産	10,848,816	流動負債	18,559,558
現金	27,900	未払金	9,253,001
預貯金	1,013,004	1年以内返済予定	1,343,975
未収金	8,524,840	預り金	1,272,402
立替金	49,024	仮受金	0
前払金	1,234,048	賞与引当金	6,690,180
仮払金	0		
固定資産	81,638,366	固定負債	36,784,588
基本財産	1,591,613	リース債務	1,835,606
定期預金	1,591,613	退職給与引当金	34,948,982
その他の固定資産	80,046,753		
土地	6,502,525		
建物	114,322	負債の部合計	55,344,146
機械及び装置	2	純資産の部	
車輛運搬具	2,630,378	国庫補助金等特別積立金	174,993
器具及び備品	2,676,843	その他の積立金	32,104,549
無形リース資産	671,328	福祉基金	8,422,543
退職給付引当資産	35,346,806	愛情資金	7,741,241
その他の積立金	32,104,549	奨学基金	10,371,399
福祉基金	8,422,543	未来へつなく夢基金	5,569,366
愛情資金積立金	6,582,241	次期繰越活動	4,863,494
奨学基金積立金	10,371,399	(うち収支差額)	△ 9,031,099
未来へつなく夢基金	5,569,366		
愛情資金貸付金	1,159,000	純資産の部合計	37,143,036
資産の部合計	92,487,182	負債及び純資産の部合計	92,487,182

【資金収支決算】

(単位:円)

収入の部	決算額
会費収入	1,055,500
寄付金収入	1,139,700
補助金収入	41,901,168
受託金収入	92,008,047
貸付事業等収入	407,000
事業収入	2,163,190
介護保険収入	39,555,792
受取利息配当金収入	13,484
積立資産取崩収入	12,468,800
その他の活動による収入	70,543
前期末支払資金残高	403,294
収入合計①	191,186,518
支出の部	決算額
人件費支出	137,786,283
事業費支出	10,941,218
事務費支出	33,168,338
共同募金配分金事業費	2,199,871
助成金支出	50,000
負担金支出	264,500
貸付事業等支出	356,000
固定資産取得支出	384,000
ファイナンス・リース債務の返済支出	1,335,130
積立預金積立支出	4,340,407
支払利息	37,358
支出合計②	190,863,105
繰越金① - ②	323,413

令和3年度賛助・一般会員報告【期間:令和3年4月~令和4年3月】

- ◎一般会費【町内世帯】 計1,109戸
- ◎賛助会員【個人】

今年度も町民の皆様の温かい御厚志に対して厚くお礼申し上げます。
ボランティア・市民活動、小地域活動などの事業や、在宅福祉サービス
事業などへ活用します。
(敬称略)

西方 清徳	安藤 博	佐藤 恭子	山中 艶子	長壁 千代子	鳩沢 秀子	立川 勝雄
堅田 光良	阿部 鋭右	茅田 英利	長谷川 敦	末吉 光恵	古館 祐子	多田 英男
有末 義美	竹浪 クニ子	笹原 満雄	横川 広	桜 貢	藤沢 玲子	桜 トシ子
片田 幸夫	大清水 昭子	堅田 芙美子	菊地 憲一	佐藤 明	大場 美智子	※他匿名者多数
船場 実	山崎 一雄	大木 勝彦	池元 豊	柳原 保	中村 美智子	
柴山 悟	中村 恒男	辻 征二	久保 英雄	篠原 政彦	佐藤 絹子	

◎賛助会員【法人・団体】

(敬称略)

宗教法人 龍門寺	JAようてい京極支所	京極建設 株式会社	株式会社 京極産業	宗教法人 北神分教会
宗教法人 光寿寺	株式会社 道南富士コン	川崎建設 株式会社	北海道信用金庫京極支店	(有)ミートショップあんぼ
宗教法人 広徳寺	株式会社 中村組	有限会社 藤沢デンキ	株式会社 羊蹄清掃社	京極町議会議員会
菊地建設鋳業 株式会社	株式会社 桜組	有限会社 ヤマトモリ	(株)バイオニアフーズ	
株式会社 高瀬製作所	樋口電気工業 株式会社	株式会社 鈴木商事	有限会社 古屋建設	計31件
ローソン京極店	京極町商工会	有限会社 京極石油	養護老人ホーム 慶和園	
ようてい森林組合	有限会社 赤木農産	久保砕石工業 株式会社	ユニットケア 慶和園	

京極町社協の活動を応援してください ~賛助会員の募集~

京極町社会福祉協議会では、活動に協力していただける賛助会員を募集しています。
みなさまから頂いた賛助会費は、京極町の福祉サービスを推進する貴重な財源として、様々な事業に役立てています。京極町社協の活動に賛同いただける方につきましては、ぜひともご協力をよろしくお願い致します。

会費 一口...1,000円

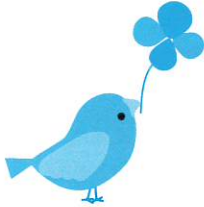
問い合わせ先 ☎0136-42-3681
京極町社会福祉協議会事務局 担当 藤波

【令和4年度 京極町社会福祉協議会 組織図】

令和4年4月1日

(役員)

会長	清水 耕策
副会長	古屋 清子
副会長	深澤 正之
常務理事	駒田 拓朗
理事	澁谷 剛
理事	赤間真知子
理事	菊地 亮
理事	辻 隆
監事	夢田 英利
監事	山岡 龍二
事務局長	駒田 拓朗



訪問介護事業所



令和3年度事業報告 【令和3年度利用状況報告】

○サービス終了者～施設入所者が5名・入院1名・転出1名・死亡が4名。訪問介護の実人数は4名増えているが、延べ人数163名で前年比では10名減となっている。総合事業の実人数は前年度と変わりなく同数になっている。
 障害福祉サービスにおいては2名の新規利用があり、延べ人数40名となる。
 新規利用者の増加はあったが、入院から在宅にもどらず施設入所や入院の継続によりサービス終了になるケースも多かった。

○サービス内容

サービス内容	年間実人数	サービス延べ回数
身体介護 (通院・買い物・金融機関の付き添い等)	30名	344回
生活援助 (買い物代行・調理・掃除)	3名	182回
通院乗降介助 (車の乗り降りが困難な方)	15名	88回



○介護予防・日常生活支援総合事業 (要支援1・2) ・事業対象者の利用実績は1名でした。
 ○障がい福祉サービスの利用実績は2名でした。

- ①利用者が地域において安心安全な生活ができるよう介護保険法の主旨に沿った適正な訪問介護を提供します。
- ②利用者の視点に立ち「利用者本位」・「自立支援」を基本としたケアに努めます。
- ③認知症施策の推進。

令和4年度事業計画

住み慣れた環境と時間をいつまでも 共有できるように在宅生活をサポートいたします
 【京極町社会福祉協議会 訪問介護事業所】

居宅介護支援事業所

認知症になっても住みよい町であるために

認知症について学び、 地域で支える 「認知症サポーター養成講座」

- ・認知症はどんな病気？
- ・認知症の方との関わり方は？
- ・京極町のとりくみなど

ご要望に応じて、内容を検討できます
お友達や家族で講座の開催も可能です

認知症の方やその家族が “ほっと”できる場 「どんぐりカフェ」(認知症カフェ)

- ・認知症サポーター養成講座を受けた、介護の経験のあるボランティアが開催中です。
- ・家族の方同士で介護の労をねぎらったり、ケアマネジャーや介護福祉士へ相談対応もできます

認知症に関する困りごとを 解決したい 「認知症初期集中支援チーム員会議」

家族や近所の方で

- ・認知症が疑われるが病院へ行きたがらない
- ・介護のサービスを使ってほしいけれど、本人は嫌がる…といったことはありませんか？

倶知安厚生病院精神科医師・認知症認定看護師、役場、地域包括支援センター職員と連携して、早期対応・支援について検討しています
チーム員が自宅訪問も行っています

道がわからなくなったら 助けてほしい 「京極町あんしんネットワーク」

認知症などで所在不明となった方の早期発見と早期保護に取り組む地域ぐるみのネットワークです。もしもに備えて事前登録をしましょう

〈申し込み〉

○京極町役場健康推進課 ☎42-2111
くわしい仕組みについては京極町ホームページをご参照ください
居宅介護支援事業所はお問い合わせや申請のお手伝いを行っています



- 居宅介護支援事業所のケアマネジャーと訪問介護事業所の介護福祉士で認知症の方やご家族からお話を聞きながら、関係機関と連携して、住みよい町づくりをすすめていきます。
- 取り組みについてご質問や問い合わせなどありましたら、下記までご連絡ください。
- 町の方に知ってもらえるよう、各団体へ訪問させていただきます。いつでもお声がけください。

お問い合わせなど

京極町社会福祉協議会
居宅介護支援事業所

☎0136-42-3681 (担当: 佐藤は・本間)

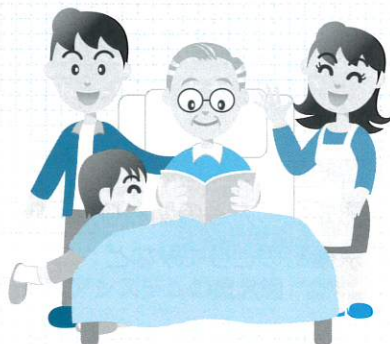
居宅介護支援事業所

令和3年度 居宅介護支援事業所 事業報告

在宅で生活される方の支援として事業運営を行っています。要介護度別にみると要介護1と比較的軽度の方が約6割を占め、80歳以上の割合が7割強となり同居世帯が多い事から、ご家族と共に必要な支援を受けながら自宅で生活されている方が多い傾向になります。

サービス内容の内訳としては、デイサービス利用や訪問介護の他、福祉用具貸与、訪問看護、訪問リハビリ等ご本人に沿ったサービスを提供させていただく事ができ、本人や家族が望まれる在宅生活を続けられるお手伝いの一部分を担わせていただく事ができました。

また、例年施設入所する事で終了となるケースが多い中、入院を機に終了となるケースが多く、疾病や身体機能低下を抱えながらも可能な限り住み慣れたご自宅での生活を続けられたのではないかと思います。



令和4年 居宅介護支援事業所 事業計画

1. 地域包括ケアシステム推進のため、居宅介護支援事業所として各事業所と連携を図りながら事業運営を行う
2. 認知症になっても住みよい京極町であるために、関係機関と連携を図り、認知症施策の推進を行う



6/17(金)どんぐりカフェに倶知安厚生病院認知症看護認定看護師 大井チエミさんをお招きして「認知症について」講話をしていただきました。

参加者の方からたくさんの質問があり、和気あいあいとした雰囲気でした。

講話の一部を紹介します。



大井 ミチエ 看護師

認知症ケアの心得は

- ・支える方は「自分を大切にすること」を忘れない。ケアを一人で抱え込まないで相談しましょう。
- ・その方の暮らしを意識し、なじみやすい環境をつくりましょう。自分から声をかけ、共感することを恐れないことも大切です。
- ・認知症の方の持っている力を最大限活かすことや、ご本人が自分で決めることを大切にしましょう。

どんぐりカフェ 毎月第3金曜日14:00～ きょう・ここにて開催しております。(予約不要)

お問い合わせなど

京極町社会福祉協議会
居宅介護支援事業所

☎0136-42-3681 (担当:佐藤は・本間)

デイサービスだより

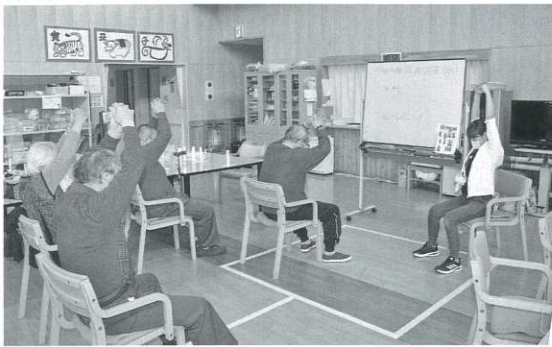
令和3年度 事業報告
令和4年度 事業計画

令和3年7月1日より地域密着型 通所介護に変更となりました。

デイサービスセンターは、他の方々と会える大切な社会参加の場、生活に刺激が与えられる場、健康的な生活を継続していくための原動力の場、ご自身の役割や生きがい作りになる場として営業しています。利用者様が毎日来たくなるような場を提供したいと思っております。

【令和3年度事業報告】

(体操)



【デイサービスの日常の様子】

(レクリエーション)



(脳のトレーニング)



【令和3年度 介護度別利用登録者数】



令和3年度	計
登録者数	291
延べ人数	2,376
実人数	272

※4月～6月までは通所介護
7月以降地域密着型 通所介護

令和3年度は、新型コロナウイルス感染対策を徹底し営業してきました。コロナウイルス蔓延防止措置等で、積極的にカラオケや麻雀といった趣味活動が実施出来ませんでした。令和4年度は、感染予防しながら色々な活動等を実施していきたいと思っております。今まで出来なかった、趣味活動の他、外出機会等提供できるよう邁進したいと思っております。

【令和4年度事業計画】

- ・地域密着型デイサービスへ移行となり、より充実したサービスを提供していきたいと思っております。
- ・個々の利用者の状態に合わせ、利用する目標を設定し、現状よりも少しでもできる事を増やせるプログラムを提供します。

以上の2点を重点目標に掲げ、住み慣れた自宅での生活が続けられるように支援させていただきます。

詳しくは、京極町社会福祉協議会、または担当ケアマネージャーまでお問い合わせください。

京極町社会福祉協議会 地域密着型通所介護事業所

京極町デイサービスセンター ☎42-3681 (担当:山本)

京極町介護予防センター

令和3年度事業報告
令和4年度事業計画

① 一般介護予防事業

つどいの場：つどいの場サポーターが2名養成され、新たに「と金の会」が誕生しました。令和4年6月現在町内に10か所のつどいの場があります。参加延数は新型コロナ感染予防による活動休止期間等の影響があるものの、令和2年度と比べ増加しています(下図参照)。

シャキッと会：つどいの場と同様、コロナ感染予防による活動休止期間の影響がありますが、参加延数は回復傾向です(下図参照)。令和3~4年度にかけて介護予防健康講話(全12話)を視聴していただいています。

元気湧く湧くウォークラリー：令和3年度は期間を5/1~10/31に延長し、シール設置場所も10→13か所に増やしました。59名(男9名/女50名)の参加がありました。シール設置場所2か所でラジオ体操も実施し、夏休みには小学生のラジオ体操リーダーが活躍してくれました。令和4年度はシール設置場所を1か所増やし開催しています。

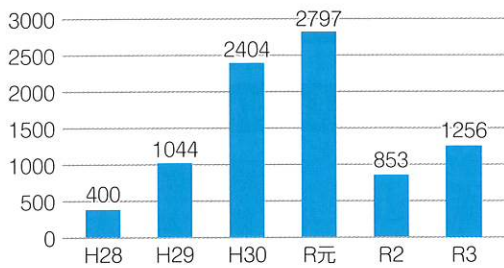


つどいの場「と金の会」

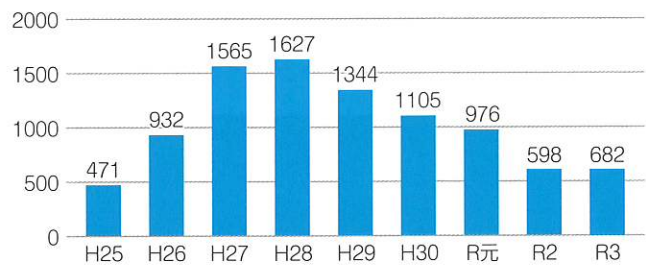


シャキッと会 健康講話視聴

つどいの場参加延数推移



シャキッと会参加延数推移



② 介護予防通所型サービス事業

ミニデイサービスにこっと(通年)

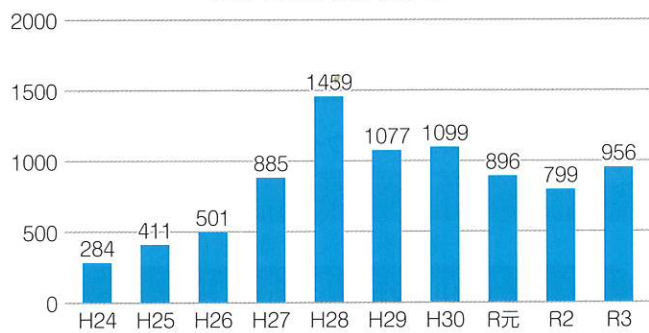
令和3年7月より週3→4回に営業日が増えました。介護度が要支援の方はこちらの利用となります。入浴サービスもご利用できるようになりました。

「にこっと元気アップ教室」(10~3月)

65~79歳を対象とした新規事業です。3か月間の教室後、社会参加で介護予防を継続できるよう支援しています。

*上記2事業分の参加延数は右のグラフの通りです。

通所事業参加延数推移



③ 介護予防訪問型サービス事業

にこっと短期集中リハビリ訪問サービス

令和3年度は利用がありませんでした。



元気湧く湧くウォークラリー ラジオ体操会場

京極町生活サポートセンター

◎令和3年度事業報告

○法人後見受任事業(社協事業)

利用者:5名(令和4年3月現在)

○日常生活自立支援事業(北海道社会福祉協議会委託事業)

利用者:1名

○京極町生活サポートセンター運営事業(京極町委託事業)

相談受付件数:10件

相談機能実績:2回

羊蹄山麓権利擁護体制運営協議会:年1回

多機関協働による包括的支援体制構築事業:8050ネットワーク会議、おうち会議の開催



◎令和4年度事業計画

○重層的支援体制整備事業(移行準備事業)

1. 8050ネットワーク会議の開催(重層的支援会議)

(1) 複合困難世帯支援に関する関係機関のネットワーク構築を目指します

(2) 町内外の支援者の他機関連携による支援事例を共有します

2. おうち会議の開催(支援会議)

複合困難世帯に関する2次相談を受け付け、支援チーム形成・支援計画の作成・進捗管理を行います



○法人後見受任事業(社協独自事業)

1. 成年後見人等の受任

→裁判所から審判を受け、成年後見人等としてお金の管理や各種契約手続きなどを行います

2. 市民後見人や他町村の法人後見と連携します

3. 法人後見運営委員会の開催

→京極町社会福祉協議会の受任可否を検討します

○日常生活自立支援事業の実施(北海道社会福祉協議会委託事業)

1. ご本人と契約を結び、お金の管理や福祉サービス利用の援助を行います

2. 北海道社会福祉協議会と連携し、適切な支援を実施します

○京極町生活サポートセンター運営事業(町委託事業)

成年後見制度利用促進基本計画に基づき以下の(1)~(4)の機能について京極町の住民が活用しやすい中核機関の役割を果たします

1. 広報機能

2. 相談機能

3. 成年後見制度利用促進機能

→裁判所への申立て書類作成に関するアドバイスを行います

→家庭裁判所と連携し申立てから成年後見業務履行の支援を行います

→市民後見人のフォローアップ研修を開催します

4. 後見人支援機能

親族後見人、市民後見人の活動を家庭裁判所と連携し支援します



●●●●●●●●●● お問合せ先 ●●●●●●●●●●

京極町生活サポートセンター

TEL 0136-42-3681 担当: 後藤健太 中村柚乃

京極町地域包括支援センター

令和3年度事業報告
令和4年度事業計画

《今年度の目標》

I. 2030年に後期高齢者となる65～79歳の個別課題、地域課題の解決に取り組めます

1. 前期高齢者対策

- ① 役場健康推進課と共に65～79歳の方を対象に介護予防把握事業とくらしのアンケートを同時実施し、実態把握を行うと共に、その結果を各地域支援事業に活用してもらいます
- ② 今後、要介護になる可能性が高いハイリスクの方に個別アプローチを行い、介護予防や社会参加につながる支援を行います
- ③ 積極的な支援介入が必要な方や社会的に孤立している方などを発見し、必要な支援や適切な関係機関への橋渡しを行います

2. 2030年に向けて優先度の高い地域課題の解決にとりくみます

- ① 「病気の予防、悪化予防、要介護状態を未然に防いでいく取り組みが必要である」～介護予防アプローチ・介護予防事業勸奨・各種検診勸奨
- ② 「本人、家族の意思決定支援をするケアマネジャーのスキルの課題」～研修開催・自主学習
- ③ 「地域包括ケアシステムを念頭に置いた個別支援」～共通説明資料の有効活用
- ④ 役場健康推進課と共に、各担当部署に地域課題解決に向けた働きかけを行います

3. 地域ケア会議の推進

- ① 地域ケア個別会議～終了ケースや好事例のふり返りを共有し、支援技術の向上に努めます
- ② 自立支援型地域ケア個別会議～検討事例の動画を活用し、より効果的な専門職からの助言が得られるよう工夫します
- ③ 地域ケア推進会議～参加者が積極的に参加できる運営を工夫し、地域課題の解決に向けた有効な解決策を導き出せるようにします

II. 地域包括ケアシステムを構成する各分野と協働し、高齢者が住みよい地域づくりを推進します

1. 医療

- ① 医療介護連携コーディネーターと協働し、高齢者が安心して受けられる医療環境を整えます
- ② 医療機関やかかりつけ医との連携強化に取り組めます

2. 介護

- ① リハビリ訪問や自立支援型地域ケア個別会議を開催し、ケアマネジャーやサービス事業者が自立支援を念頭に置いたケアマネジメントやサービス提供に努められるようにします
- ② 居宅介護支援事業所との連携に心がけ、切れ目のない支援に心がけます
- ③ 町内ケアマネジャーの資質向上を目的に研修会を開催します

3. 介護予防・健康づくり

- ① 介護予防センターと協働し、町の高齢者の特性に応じた介護予防事業を展開していきます
- ② 役場健康推進課や住民福祉課と連携し、健診や歯科健診受診率アップのための取り組みを行います

4. 生活支援・社会参加

- ① 高齢者の生活支援ニーズを支えあい本部や生活支援コーディネーターに積極的に発信し、資源調整や資源開発に結び付けます
- ② 高齢者の社会参加促進に向け支えあい本部や生活支援コーディネーター、NPOとの連携を心がけます

5. 住民・住まい

- ① 防災をテーマに町内会単位で座談会、防災の日に避難訓練を開催し見守り体制構築につなげます
- ② 災害アセスメントシートや連絡網、トリアージ名簿の整備とケアプランに災害への備えを明記します
- ③ いきいきシニア訪問～80歳到来者と同居高齢者との顔の見える関係づくりを行います
- ④ 民生委員の高齢者訪問をサポートし、気になる高齢者の対応に関する相談にのります
- ⑤ おうち会議を活用し、8050問題の解決に向けた支援体制づくりに協力します
- ⑥ 見守り事業や救急医療情報キット等を活用し高齢者が安心して暮らせる環境整備に取り組めます
- ⑦ 地域安全協会や健全育成会、警察と連携し、みまもりウォーキング事業を行います

《昨年度の主な活動》

I. 包括的支援事業

1. 高齢者の主な相談状況(相談件数の多い順)

- ①介護保険16件 ②認知症12件 ③精神疾患6件
 - ④医療関係5件 ⑤総合事業4件
- ※65歳以上の方の約4人に1人の方に対応

2. 権利擁護

- ①高齢者虐待対応4件 計9回話し合いを開催
- ②高齢者虐待研修会開催 28名参加(連携協議会構成機関)
- ③消費生活相談ネットワーク会議 2回開催

3. ケアマネジャー支援

- ①リハビリ訪問 2回(事例5名)開催
- ②俱知安町・京極町介護支援専門員合同研修会 29名参加

4. 個別支援

- ①定期訪問 86名(延656名)
- ②いきいきシニア訪問
満80歳になった方と同居する高齢者 計19名
※19名のうち1名の方に継続支援

5. 地域ケア会議の取り組み

- ①地域ケア個別会議 5回(事例5名)開催
- ②自立支援型地域ケア個別会議 2回(事例4名)開催
- ③地域ケア推進会議 4回開催
検討した地域課題 「個別ケースを通じた地域包括ケアシステムの構築という視点が欠けがちである」
「本人の選択を促す働きかけやスキルが不十分である」

6. 認知症の方にやさしいまちづくり

- ①認知症サポーター養成講座
会場開催1回、会場・オンライン併用開催2回
計3回開催 43名養成
※認知症サポーターは668名で町民の26.2%(全道5位)
- ②あんしんネットワーク
登録者：在宅3名・施設9名
協力機関：32機関・個人協力者：125名
- ③どんぐりカフェ 7回開催

II. 総合事業

1. ケアマネジャー業務

55名(総合事業利用者41名・要支援で介護サービス利用者14名)

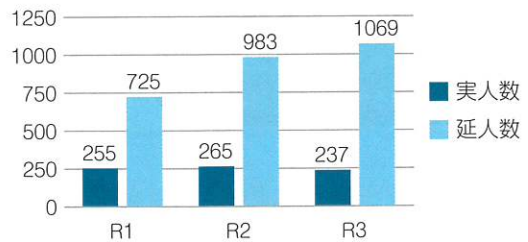
2. 介護予防把握事業

- ・65歳以上の方689名(79.3%)に基本チェックリストを実施
- ・介護予防が必要と判断された項目(多い順)
- ①物忘れ予防 ②うつ予防 ③運動機能
- ④口腔ケア ⑤閉じこもり予防 ⑥栄養改善

3. ハイリスクアプローチ

65~79歳の方で要介護になる心配のある方53名に必要な取り組み・サービスなどの紹介

総合相談件数



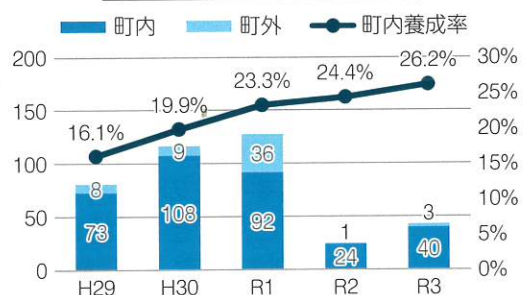
消費生活相談ネットワーク会議



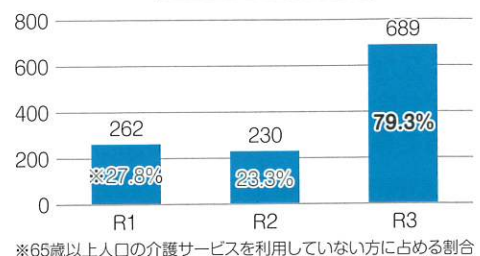
介護支援専門員研修会



認知症サポーター数の推移



介護予防把握事業



地域福祉課地域福祉係

令和3年度 主な活動

生活支援体制整備事業

事業の目的:
地域包括ケアシステムの「互助」の整備を行っていく。

(1) 地域資源・ニーズ把握

- ① 社会資源の発見・把握、町内会への訪問
…実件数9件、延べ件数22件
- ② 多様な社会資源への訪問活動…実件数4件、延べ件数5件

(2) ニーズと資源のマッチング

- ① 高齢者の生活支援ニーズ(個別) マッチング支援:7件
- ② 団体活動支援:5件
- ③ 地域課題の検討会への開催・参加…14件(検討した地域課題「個別ケースを通じた地域包括ケアシステムを構築するという視点が欠けがちである」「定年後に活躍できる場がない」「送迎に付随していたコミュニティの再構築が必要である」「見守りや困りごとの相談を身近でできる体制づくり」)

(3) 生活支援の担い手育成

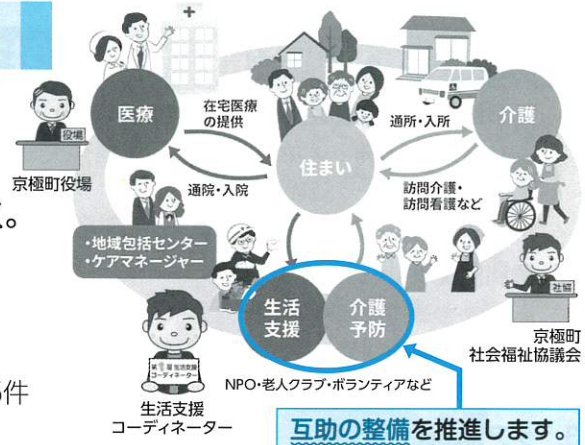
- ① 通所C型サービス・にこっと元気アップ教室参加者への社会参加支援:4件
- ② NPO法人きょうこ交流会支援:7件

(4) 資源開発

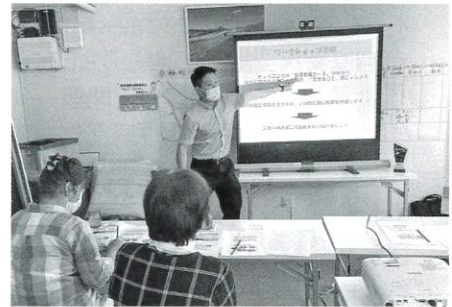
- ① 男性の会組織化支援:11件
- ② 男のつどいの場立ち上げ支援:1件(一般介護予防事業への協力)
- ③ 趣味活動立ち上げ支援:1件

(5) 関係者間のネットワーク構築

- ① 地域支えあい本部の開催:4件
- ② 後志管内生活支援コーディネーター等情報交換会開催協力:6件
(さわやか福祉財団北海道ブロック事業への協力)



地域包括ケアシステムの概念図 ※地域包括ケアシステムは、概ね、中学校区単位として想定



ささえあいを広げるため場づくりの様子



地域力強化推進事業

事業の目的:京極町のすべての人が「お互い様」の関係で助け合うことができる「地域共生社会」の実現に向けて、地域で考え、活動していく力(地域力)の強化を推進していきます。

(1) 福祉委員の再構築

- ① 福祉委員への訪問:68件
- ② 福祉委員協議会の開催:5件
- ③ 福祉サークル会議:5件
- ④ 福祉委員だよりの発行:3件

(2) 子ども福祉委員の育成

- ① ゆるスポーツ大会:1件
- ② 子ども会議の開催:6件
- ③ 教育委員会事業への協力・参加:8件

(3) 外国人支援

- ① 外国人の方への町内事業周知:2件



福祉サークル会議の様子



ゆるスポーツ大会の様子

令和4年度 計画・目標

多世代・他属性の地域住民にとっての居場所づくりと 社会参加の場づくりを推進します

生活支援体制 整備事業

地域の課題を地域住民の皆さんと共有し解決に向けた取り組みを考える場づくりを推進すること、高齢者の方がいつまでも生きがいを持って暮らしていくための社会資源の開発に重点的に取り組みます。

地域力強化 推進事業

子どもから高齢者まで幅広い世代の方、障がいや国籍等に関係なく様々な属性の方が、京極町という地域の中で安心していきいきと暮らしていけるように、交流の場や居場所づくりに重点的に取り組みます。

地域の活動紹介

福祉委員の活動報告 4、5月に「令和4年第1回福祉委員協議会」を開催しました!

今年も感染症対策のため、人数を制限し39町内会を3つの地区に分けて実施しています。

日にち	町 内 会
4月22日(金)	三区、共栄1、共栄2、ふきだし、川西、芙蓉、四区、京極、十区、七区、末次、南京極、北岡、軽川、中野、松川、更生、錦
5月10日(火)	駅前、新京極、南本通、三条通、報徳、望羊団地、三崎、あけぼの団地、第3ときわ、東春日
5月12日(木)	本通、一条通、二条通、二丁目、旭町、一八、東団地、三崎116、ときわ、第2ときわ、375

委嘱状の交付、京極町の現状・福祉委員の活動紹介を行い、最後に2グループに分かれて意見交換をしました。

<テーマ:福祉委員を広めるためには?>

- ・自分たちも今まで知らなかったし、町内にも認知度が低いのではないかな?
- ・町内会の集まりや回覧で福祉委員の活動を周知していきたい。
- ・見守りや地域の担い手には若い人の力が必要、高校生等も委員になってくれたら...



福祉委員さんの思いや町内会の様子を話し合うことができ、今回もとても有意義な時間となりました。福祉委員は頼れる存在です。みなさんも自分の地域の福祉委員がどなたか町内会で共有してみてください。

男性の会のおっちゃんこ作製

生活支援コーディネーターの地域のささえあい活動紹介

6月某日に男性の会が「おっちゃんこ」を作製し、町内各所に設置してくれました!

昨年の活動後に地域住民から「～に置いて欲しい」という要望を男性の会が聞き取り、その声をもとに新たに3か所のおっちゃんこ(計9か所)が設置されました!地域の高齢者の方々や子育てママさんなど幅広い世代の方々の憩いの場づくりで地域住民の声からはじまる地域住民のためのこの活動。京極町の素敵な地域の助け合い活動です。



おっちゃんこ作製の様子



ささや食堂前



望羊団地敷地内



後藤田商店前

みんなの **ふくし** 講座 開催中です!



ふだんの**く**らしの**し**あわせに役立つ講座として、みなさんの暮らしに関わりの深いテーマを取り上げました。楽しくて、分かりやすい講座となるように努めていますので、気になったテーマがあればお気軽にご参加ください。

テーマ	開催日時
<p>けいちょう 傾聴から広がる人間関係 親子・夫婦・友人・職場…コミュニケーションで困った時こそ傾聴を! 講師:北海道総合福祉研究センター 理事長 五十嵐 教行 氏</p>	<p>8月20日(土) 13:30~15:00</p>
<p>新企画・くらしのあんしん講座「知っておこう!年金制度」 毎年テーマを変えて、社会保障や公的制度について学びます。 講師:よつば社会保険労務士事務所 社会保険労務士 岡田 光次郎 氏</p>	<p>9月9日(金) 18:00~19:30</p>
<p>健康寿命を延ばすには 高齢者だけでなく中年世代にも理解を深めてほしい内容です 講師:京極町介護予防センター 理学療法士 古市 香苗</p>	<p>8月9日(火) 18:00~19:30</p>
<p>はじめての手話講座 講師:後志ろうあ協会余市支部 伊藤 利恵子 氏</p>	<p>9月26日(月) 18:00~19:30</p>
<p>みんなで学ぼうSDGs (エス・ディー・ジーズ) 講師:京極町社会福祉協議会</p>	<p>8月17日(水) 15:00~16:30</p>
<p>つどいの場で生きがいづくり つどいの場サポーターになって活躍してみませんか? 講師:京極町介護予防センター 理学療法士 古市 香苗</p>	<p>※動きやすい服装と上靴を持参してください 9月6日(火) 18:00~19:30</p>
<p>ビデオ通話を始めてみよう! スマホ基本の使い方、Zoom、LINEも 講師:京極町社会福祉協議会</p>	<p>9月28日(水) 18:00~19:30</p>

場所:京極町福祉センター(虻田郡京極町字三崎68番地)
申込:京極町社会福祉協議会ボランティアセンター
(担当:藤波、阿蘇)
電話/0136-42-3681 FAX/0136-41-2031
メール/kyogoku-fukushi@blue.ocn.ne.jp

準備の都合上、各講座3日前までのお申込みをお願いします。



Kyo-coco きょう・ここ
京極町共生型地域福祉拠点

おそうざいマルシェ プレオープン!

日時

6月17日(金)
16:00~18:00

場所

共生型地域福祉拠点
きょう・ここ

「毎日同じものばかり食べて食の楽しみが無い」「1人分のご飯を作る気になれない」
「仕事や子育てで忙しくご飯を手作りする時間が無い(または大変だ)」「たまには誰かに
ご飯を作ってもらいたい」

このようなことは、多くの人を感じたことがあるのではないのでしょうか。それは、年齢や立場に関係なく、若者や子育て世代、いつも家でご飯を作っている人、高齢者…日々の暮らしを営む人に共通した課題と考えました。そこで、住民と社協で「ごはん会議」を立ち上げ、みんなにとって豊かな食生活を目指し「おそうざいマルシェ」を企画しました。

マルシェとは「^{いちば}市場」を意味する言葉で、
色とりどりの手づくりおかずが並ぶイメージで名付けました。

第1回目

第1回目の6月17日(金)は、関係者に購入してもらい、意見を寄せてもらう実験的な場として実施しました。調理・販売スタッフは、ごはん会議メンバーの他賛同者が集まりました。

こだわりは、「手作り」「購入者は容器持参」「量り売り」です。食品ロスやゴミ削減、地域交流を考えた結果です。

はじめてのことが多く当日はドタバタ感が否めませんでした。参加メンバーからは「楽しかった♡」という感想が多く、次回もみんなで明るく楽しく取り組めそうです。

購入者からは、「ごはんを作らなくて良くなった分、子どもと遊ぶことができた。」「やさしい味付けで、子どもも大人も美味しく食べられた。」など嬉しいご意見をいただきました。

しかし、反省点もいくつかありますので、今後の通常オープンに向けてメンバーで検討していきます。秋ごろまでは月1回のプレオープンを続けますので、ぜひご来場ください。



第4回 共楽クラブだより

共楽クラブとは

共楽クラブは昭和40年2月7日に設立した相互扶助団体です。今年で創立56年目になりました。共楽クラブでは昔から変わらぬ『会員相互の親睦と融和』という目的のもと、様々な活動を行なっております。

『共楽クラブだより』では、当クラブで行われた行事や活動などをピックアップして掲載いたします!

ご興味のある方は、【事務局:福祉センター 阿蘇^{あそ}】までお電話ください!

2年ぶりに『総会』を開催しました!

共楽クラブの総会が2年越しの開催となりました。

参加者27名と多くの会員にご出席いただき、皆様の共楽クラブ・総会への関心の高さを再認識致しました!

今年度もコロナウィルスの感染が予断を許さない状況であったため、例年通り懇親会も開催とはいきませんでした。が、久しぶりに顔を合わせる機会にはなったようです。社会情勢も『ウイズ コロナ(コロナと共に)』に向かう中で、創意工夫して開催できたこともよかったです。

来年度以降の状況は予想が難しいですが、年に1度の総会である為、なるべく開催する方向で進めていきたいですね!来年こそは懇親会も開催できることを祈っております!



京極発祥の地の草刈り&福祉センター花壇整備を行いました!

共楽クラブの事業で、京極発祥の地の草刈り及び、福祉センターの花壇整備を行いました。この日は朝から快晴で外での作業にぴったりの陽気でした。

参加者23名と多くの会員にご参加いただき、草刈り・花壇整備どちらもスムーズに終わることができました。今度は7月7日、花壇にお花を植える予定になっています。

皆さんと一緒に作業する事ができて、とても楽しかったです。また来年もご協力よろしくお願いたします!

共楽クラブ事務局 京極町社会福祉協議会(阿蘇・石井) 42-3681

寄付・寄贈に感謝いたします

【期間】3月~5月

【寄付】「福祉基金へ」

安藤 洋子様より、夫の故 安藤 博様の生前のお礼として
 遠藤 敦様より、父の故 遠藤 政吉様の生前のお礼として
 佐藤 登様より、京極町の福祉の為に
 板谷 重子様より、京極町の福祉の為に
 酒井 勇一様より、父と母がお世話になったお礼として
 長壁 千代子様より、京極町の福祉の為に
 柴山 光子様より、京極町の福祉の為に
 中村 恒男様より、京極町の福祉の為に

【寄贈】

吉川 艶様 佐藤 建一様
 野村 正次様 菅原 志津子様
 小林 治子様